

No. 56

12月定例会

平成31年2月22日発行

目次

定例会の概要	2
議案等審議結果	3
市長の所信表明・用語解説	4
議会構成	5
代表質問	6~7
一般質問	8~12
ご意見箱について	12
委員会報告	13~15
議会活動日誌・編集後記	16

やまなし

市議会

だより

総額1億6,669万円を減額する一般会計補正予算など17案件を可決しました。



平成31年山梨市消防出初式／平成31年山梨市成人式

12月定例会の概要

市長から提案された、条例改正、平成30年度一般会計補正予算、請願など17件の審議を行いました。

議案第87号

山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

「公職選挙法の一部を改正する法律」の施行に伴い、市議会議員の選挙における選挙運動用ビラの頒布が可能となることから、選挙運動用ビラの作成を公費負担の対象とするため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第88号

山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について

成果重視の経営型組織を目指すとともに、新たな行政課題や住民の多様なニーズに即応した施策を、総合的かつ機動的に展開できる組織とするため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第92号

山梨市若者定住促進支援基金条例の一部を改正する条例について

若者定住促進住宅「定住祝い金」交付事業の資金に充てるための基金について、支給の規定を充たさない場合の積立金を、三富地域の振興資金として活用したいため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第92号

山梨市若者定住促進支援基金条例の一部を改正する条例について

若者定住促進住宅「定住祝い金」交付事業の資金に充てるための基金について、支給の規定を充たさない場合の積立金を、三富地域の振興資金として活用したいため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第93号

山梨市営若者定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について

人口減少対策として、若者定住促進住宅の入居資格を「市内への持ち家取得による定住希望者」に改めるとともに、合併前の三富村の区域内に持ち家を取得した入居者に対して交付してきた「定住祝い金」の対象を市内全域に拡充するため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第95号

平成30年度山梨市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億6,669万5,000円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ191億6,980万2,000円にするものです。これは、事業の見直し及び人事院の給与に関する勧告等に基づく給与改定などによる補正予算であり、その主なものは、「主要地方道甲府山梨線整備事業」に伴う発掘調査費として、「大工北遺跡発掘調査事業」1,444万円余、山梨市行政組織の機構改革に伴う事務スペースの改修経費として「機構改革関連改修事業」1,727万円余です。また、事業費の見直しとして、「ふるさと納税事業費」の追加6,430万円余、「障害児支援費」の追加5,070万円余、「介護等給付事業費」の追加1億3,325万円などであり、人事院勧告による給与関係については、2,236万円余の追加です。また、社会資本整備総合交付金の対象事業について、今年度の内示額が確定したことに伴う各事業費の見直しにより、合計8億419万円余を減額する補正内容です。

議案第101号

字の区域の変更について

「県営畑地帯総合整備事業目下部地区」の圃場整備に伴い、字の区域の変更が必要になったため、地方自治法第260条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

平成30年12月定例会議案等審議結果

12月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対）

議案 番号	議案 件名	議員名													審議 結果		
		矢 崎 和 也	土 屋 裕 紀	根 津 和 博	萩 原 弥 香	清 水 時 保	深 沢 敏 彦	飯 島 力 男	古 屋 弘 和	三 枝 正 文	木 内 健 司	小 野 鈴 枝	村 田 浩	飯 嶋 賢 一		岩 崎 友 江	向 山 輝
第87号	山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第88号	山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第89号	山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第90号	山梨市長等の給与及び旅費条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第91号	山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第92号	山梨市若者定住促進支援基金条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第93号	山梨市若者定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第94号	山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第95号	平成30年度山梨市一般会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	可決
第96号	平成30年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第97号	平成30年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	可決
第98号	平成30年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	可決
第99号	平成30年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第100号	平成30年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第101号	字の区域の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第102号	監査委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
請願 第2号	山梨市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	採択

高木市長の所信表明（12月定例会）

おもな事業の報告

●中期財政見直しについて

推計期間は、平成31年度から35年度までの5年間とし、決算状況を分析したうえで、「第2次山梨市まちづくり総合計画」で掲げる5つのビジョン・目指す方向性を柱とし、中期計画にある現状と課題、対応の方向性、基本目標などを考慮した内容の見直しとなっています。

本市が、今後とも持続的に発展していくため、本市の潜在的な魅力の発掘と、最小の経費で最大の効果が挙げられるよう、すべての職員が、この「中期財政見直し」に充分留意しながら、効率的な行財政運営に向けて取り組んでいく考えです。

●来年度の予算編成

厳しい財政状況となっている現状をしっかりと認識した上で、社会構造の変化と住民ニーズを的確に把握し、「第2次山梨市まちづくり総合計画」中期計画にある本市の課題解決に向けた具体的方策を着実に推進するとともに、政策方針である「7つのビジョン」の実現に向けた、具体的な取り組みを実施するものとし、併せて、平成27年度に策定した「山梨市総合戦略」による本市創生に向けた取り組みに関しては、計画期間最終年度となることを鑑み、計画に沿ったKPIの達成に向け、戦略的な予算編成を指示しました。また、限られた財源を、真に必要な事業に配分できるよう、歳出のゼロベースでの見直し

を行い、継続が必要な事業は継続しながら、「選択と集中」による効果的な予算編成を考えています。

●機構改革について

新たな課として、まず、市民の安全・安心を確保し、災害等危機事象への機能強化を図るため、「防災危機管理課」を、さらに、様々な行政課題にスピード感をもって対応できる組織の構築を図るため、「地域資源開発課」を設置します。

地域資源開発課では、市の抱える課題への具体的な取り組みや、地域資源の活用による施策展開、東京オリンピック・パラリンピックへの対応と、ホストタウンとしての交流事業などについて検討、実施していきます。

また、今回の機構改革に併せ、市民などが多く利用する東館事務スペースが、制度の多様化から、職員数や関係書類が増加し、手狭となっている現状を解消するため、介護保険課を2階のコラボサロンに移動します。

介護保険課を訪れる方の大半は、介護を必要とする本人ではなく、介護相談や各種申請手続きを行なう家族などであること、また、車いすで来庁された場合でも、エレベーターを利用していただけることなどから、2階への移動に伴う大きな問題はないものと考えています。

議会用語解説

～議会だより第56号に使用されている用語を解説します～

用語	解説
定例会	定期的に招集される議会のことです。山梨市議会の定例会の回数は年4回(3月、6月、9月、12月)と定められています。
議案	議会の議決を必要とする市長または議員、委員会が議長に提出する案件のことです。条例の制定、改正、廃止、予算の決定、決算の認定などの案件があります。
一般会計	特別会計、企業会計以外の全ての基本となる歳入歳出を計上した会計のことをいいます。
常任委員会	議会が条例で設置する委員会の内、一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行わせる委員会のことです。山梨市議会では条例で、総務常任委員会、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会を設置しています。
請願	国または地方公共団体等に一定の措置をとるよう（または、とらないよう）希望する制度で議員の紹介により文書を提出することです。提出された請願書は委員会で審査したうえで、本会議で採択か不採択かを決定します。

新しい議会構成決まる

議長に武井寿幸氏・副議長に矢崎和也氏

平成30年12月定例会において、正副議長の選挙や、議会運営委員会の委員の選任が行われました。

その結果、武井寿幸議員（牧丘町窪平）が第13代議長に、矢崎和也議員（上之割）が第13代副議長にそれぞれ当選し、就任いたしました。

なお、各常任委員会、議会運営委員会及び組合議会議員の構成は下表のとおりです。

武井寿幸議長は当選2期目で、議会運営委員会委員長などを、矢崎和也副議長は当選2期目で、教育民生常任委員会委員長などを歴任しました。

議会選出の

監査委員に

飯嶋賢一 議員

議会選出の監査委員として飯嶋賢一議員（北）の選任に同意しました。



飯嶋賢一 議員



矢崎和也 副議長

就任 あいさつ



武井寿幸 議長

議会改革については、一昨年議会と議員の果たすべき責任や役割を明確に示すため議会基本条例を制定しましたが、以来、中断しておりましたが、12月定例会において議会改革特別委員会を設置しました。その中で、災害発生時に議員が対応すべきマニュアルと体制づくり及び紙資源の削減と効率的な議会運営のためのタブレット端末導入の検討を進めます。

そして山梨市の発展と市民福祉の向上に向けて矢崎副議長共々頑張つてまいります。市民の皆様は温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

この度、12月定例会において議員各位の指名推薦により議長に就任致しました。身に余る光栄であると共にその重責を深く感じております。議員として、まだまだ経験不足であり、浅学非才の身であります。今後とも円滑な議会運営に努めてまいります。

この度、12月定例会において議員各位よりご推挙を頂き、副議長に就任いたしました。多様な意見を持った市民の皆様より負託を受けた私ども市議会議員が、それぞれの意見を持って話し合い、市民の皆様にとつて最善の決定を生み出すことが、議会の重要な役割だと考えます。副議長として、その為の環境整備に全力で取り組んで参ります。市民の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

◆総務常任委員会

- ◎岩崎友江 ○萩原弥香
- 武井寿幸 矢崎和也
- 村田 浩

◆建設経済常任委員会

- ◎飯島力男 ○飯嶋賢一
- 土屋裕紀 三枝正文
- 木内健司 小野鈴枝

◆教育民生常任委員会

- ◎深沢敏彦 ○清水時保
- 根津和博 古屋弘和
- 向山 輝

◆議会運営委員会

- ◎向山 輝 ○三枝正文
- 土屋裕紀 根津和博
- 深沢敏彦 岩崎友江

◆組合議会議員

- 〈東山梨行政事務組合議会議員〉
- 矢崎和也 土屋裕紀 古屋弘和
- 木内健司 小野鈴枝 村田 浩
- 岩崎友江 向山 輝

〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉

- 武井寿幸 根津和博
- 萩原弥香 飯島力男
- 〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉
- 深沢敏彦

〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉

- 三枝正文 向山 輝

日本共産党	公明党	市民の会	躍心会	新翔会	市議会では、所属政党や主義主張を同じくする議員が集まって会派を結成し、活動を行っています。山梨市議会では左記の会派等が結成されています。 (○は会派代表者)
○清水時保	○木内健司 萩原弥香	○小野鈴枝 村田 浩	○向山 輝 飯嶋賢一 岩崎友江 深沢敏彦 飯島力男	○三枝正文 武井寿幸 古屋弘和 矢崎和也 根津和博 土屋裕紀	



問 度重なる市職員の不祥事について

この一年間に市職員による不祥事が立て続けに発生し、誠に由々しき事態である。不祥事の再発防止に向けた本気の取り組みについて伺いたい。

市長 高木晴雄
答 7月、不祥事を起こした職員の辞職願を受理し、事務処理ミスを起こした職員には文書にて訓告を行い、厳重注意とした。昨年の職員採用に係る不正事件以後、公務員倫理の醸成を目的とした職員研修を行い、今後も継続的に実施して職員の意識向上を図る。職員による不祥事根絶と、事務処理ミスの防止を目的とした「山梨市職員行動基準」を、本年12月に策定した。今後は、この基準を基にした職員教育を徹底し、遵

守を図っていく。さらに、「山梨市公益通報制度」の策定や「事務引継マニユアル」を策定中である。市民に信頼され、愛される市役所となるため組織の改善を図る。

問 「山梨県笛吹川フルーツ公園」の管理者変更による本市への影響について

来年度からフルーツ公園の管理運営業者が、新たに「笛吹川フルーツ公園マネジメントグループ」に決まった。そこで、3点について伺いたい。

①「山梨市フルーツパーク株式会社」の事業、社員の縮減規模及び周辺施設への影響と存続について。②会社の人材と管理運営のノウハウの活用について。③「笛吹川フルーツ公園マネジメントグループ」の市観光協会、商工会などへの加入、市民の雇用創出について要望したい。

市長 高木晴雄

答 ①「やまなしフルーツ温泉ふくふく」や「山梨市フルーツセンター」などの民活区域は、引き続き管理を行うが、公共区域の管理事業がなくなるため、事業費のおよそ8割が減ることとなる。そのため、事業、社員の縮

減を検討せざるを得ない。②従業員35名（社長以下、正社員7名、契約社員6名、パート21名）の貴重な人材が公共区域においても継続して雇用されるよう働きかけるとともに、公園管理のノウハウも新体制のもとで活かしていきたい。③本市の観光事業・商業発展のため、あらゆる面での協力を強くお願いしていく。

問 「山梨市ふるさと振興機構」(地域商社)の活動状況と展望について

山梨市ふるさと振興機構は、平成29年6月に、本市の農林業分野の活性化と就農、定住支援、古民家を再生・活用した農泊事業の推進を目的に設立されたが、以下の2点について伺いたい。

①振興機構の具体的活動内容と評価。②国の支援終了後、どのように自立して本市の活性化に関わっていくのか。

市長 高木晴雄

答 ①市場では、規格外とな

る果実を都内のコンビニで販売したほか、新たにシンガポールの伊勢丹での海外販売を実施した。また、農業従事を希望する学生等に、農業体験ツアーなどを実施している。交流人口の増加や新たな販路開拓による生産者利益の向上は、本市全体の活性化につながる。②ふるさと振興機構は、機構自体が利益を追求するのではなく、生産者などに利益還元する機能を発揮することが重要と考える。しかし、機構が存続するためには、商社としてのビジネスモデルを確立し、必要となる財源をある程度確保していくことが必要だと考えている。今後、補助金、助成金に頼らない自立した組織として、継続的な事業展開を進めていくことが求められる。市としても、ふるさと納税事業との関わりを検討するなどして、本来の目的が達成できるように連携を図っていく。

るさと振興機構は、機構自体が利益を追求するのではなく、生産者などに利益還元する機能を発揮することが重要と考える。しかし、機構が存続するためには、商社としてのビジネスモデルを確立し、必要となる財源をある程度確保していくことが必要だと考えている。今後、補助金、助成金に頼らない自立した組織として、継続的な事業展開を進めていくことが求められる。市としても、ふるさと納税事業との関わりを検討するなどして、本来の目的が達成できるように連携を図っていく。

＜その他の質問＞

- 外国人労働者受け入れ拡大と本市の実態について
- 若者定住促進住宅の利用促進に対する今後のあり方について
- 農業にIoT技術を活用した取り組みについて
- 合併特例債の発行額と普通交付税算定方法見直しについて
- 市営住宅の耐震化及びバリアフリー化について
- 市民の目で道路の穴の整備を



▲山梨県笛吹川フルーツ公園



問 「中期財政見直し」について

①歳入確保に向けた具体的な取り組みについて伺いたい。
②義務的経費の上昇予測に対する対策について伺いたい。
③実質公債比率、将来負担比率の指数改善への取り組みと長期展望について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①市税収入の短期間での急増は期待できず、合併算定替の段階的縮減により、自主財

源確保は難しくなるが、新たな課税客体の確保等を図り、自主財源確保の強化に努めていく。加えて、好調な「ふるさと納税」も、更に増収を目指す。②職員数抑制、費用対効果の高い事業実施など、財政の硬化化を招かない効率的な行政運営に取り組む。③実質公債費比率は、市債償還額の増加などに

より、数値は上昇していく見通しである。将来負担比率は、市債残高の増加などにより平成32年度以降150%台になると推計している。今後は、市債借入額の抑制など、より一層の健全化に努めていく。

問 市民サービス等の向上について

①時差出勤制度の拡充により夜間や休日でも必要書類を提出し、受理できる勤務体制の検討について伺いたい。
②地区行政への通知や依頼、案内の発信のあり方について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①現在、一部の施設に勤務を実施している。市民課窓口では、毎週水曜日に窓口延長を行っている。来年8月から、マイナンバーカードを使って、各種書類が取得できる「コンビニ交付サービス」の運用を開始する。②本市では、88名を区長として委嘱している。区長の職務は、区の運営に加え、市からの依頼業務もあり、ご苦労をかけている。今後、各課の依頼業務を精査し、区長の負担が軽減できるよう取組んでいく。

問 「山梨市地域まるごと支援事業」について

①山梨市地域まるごと支援事業は、地域包括ケアシステムであるとの理解で良いのか伺いたい。
②山梨市地域医療戦略との関係について伺いたい。
③山梨市地域まるごと支援事業が、山梨版、地域包括ケアシステムと呼ばれるような、その取り組みについて伺いたい。
④市立牧丘病院を軸とした地域医療戦略の背景について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①高齢者だけでなく、子供や障害者なども含めた、地域共生社会の実現を目指しており、地域包括ケアシステムをより進化させた取組みである。②地域医療戦略は、地域包括ケアシステムなどを定めるものであり、山梨市地域まるごと支援事業についても、高齢者の医療を軸とする取り組みは、この戦略に基づき実施していく。③今後、山梨市地域まるごと支援会議を設置し、地域の課題を把握・共有し、本市に相応しい支援体制や、支え合い体制の整備に取り組んでいく。④市立牧丘病院が、在宅療養支援病院として、市全域の在宅療養患者を支える医療機関として機能している点である。

問 「適応指導教室」について

適応指導教室を、近隣市との共同で運営することについて伺いたい。

教育長 市川今朝則

答 本県では、「こすもす教室」が葎崎、都留、石和の3ヶ所で開設されている。この内、葎崎、都留の2教室は来年度までに廃止され、石和教室も、設置場所や内容等を検討中である。本市在住者の石和教室利用者は3名で、仮に設置場所が、甲府の中心部に移った場合は、新たな設置について検討が必要となる。その際、運営にあたっては、本市の規模や運営経費等を総合的に考え、近隣市との共同設置が望ましいと考える。

その他の質問

- 「笛吹川フルーツ公園の指定管理者選考」結果について
- 本市の商業振興の課題について
- 消費税増税の市財政への効果について
- 健康増進活動と医療費について



▲市立牧丘病院



岩崎友江 議員

躍心会

問 オーチチャードヴィレッジ・フフの賃貸借について

オーチチャードヴィレッジ・フフは平成24年5月にグリーンドッグ社と賃貸借契約を締結した。そこで3点について伺いたい。①平成24年度以降、施設に投資した額。②契約更新に伴い契約時の内容賃借借、算出方法。③保健農園ホテル・フフ山梨の利用状況及び地域との交流、関わり。

市長 高木晴雄

答 ①賃貸借契約を締結後、5,000万円余を支出している。②契約期間は、平成24年5月から10年間。賃借料は、その内、5年間は免除とし、平成29年度から土地の評価額などを基準に算定した、年額925万9,000円余の契約であった。しかし、賃借料減額の申し出があり、契約期間を平成34年3月31日までの5年間、賃借料を年額429万1,000円余とする新たな契約を締結した。③フフを会場とした「笑顔フェスタ」を開催

し、地元の方々と交流している。ふるさと納税について

問 ふるさと納税について

ため支払える「ふるさと納税」について6点伺いたい。①平成30年11月迄の納税額。②市民税の減少額。③返礼品の人気順位と額。④納税寄付額に対しての使途の内容。⑤寄附額の取り扱い。⑥平成30年12月補正のふるさと納税事業費の追加補正の詳細。

企画財政課長 向山正学

答 ①平成30年11月末現在で4億5,400万円余である。②個人市民税の減少額は、1,333万円余である。③1位「シャインマスカット」、2位「桃」、3位「巨峰」である。返礼品の調達費用は全体で9,458万円、返

礼割合は29.3%である。④「市街地や地域のインフラ整備」や「子育て、学校教育、福祉の充実」などに一般財源として充当されている。⑤全額が「ふるさと輝き基金積立金」として積立てられる。⑥寄附者への返礼品の調達、送付経費など合計6,430万円余増額分として見込んでいる。

その他の質問

○重度・心身障害者の医療費助成について



▲オーチチャードヴィレッジ・フフ



清水時保 議員

日本共産党

問 「核兵器廃絶平和都市宣言山梨市」の市長の所信について

安倍首相の9条改憲への常軌を逸した暴走ぶりは許されない。「核兵器廃絶平和都市宣言」を発した本市の市長として所信を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 本市は、平和憲法に則り、非核三原則を遵守し、恒久平和の達成を目指した、「核兵器廃絶平和都市」の宣言を行っている。今後永久に、平和憲法の精神を遵守していく。憲法改正については国民的な議論が必要であると考えます。

問 国保税負担軽減と国保制度の維持について

来年度予算においても、一般会計からの繰入を従来通り続け、制度の維持に努め、さらなる国保税負担軽減の努力を望むかがかか。

市民課長 佐藤美子

答 一般会計からの繰入れは、総務省からの通知に基づき行う。主なものは、保健基盤安定

繰入金であり、今年度、2億2,300万円余を見込んでいる。この他、保険給付のうち、出産育児一時金など、総額3億1,500万円余を見込んでいる。今後、従来通り適正な繰入れを行っていく。制度の維持には、医療費を抑制することが最重要課題であり、健診の受診率向上などに努めていく。

問 子どもの医療費助成制度の年齢拡大について

本市の医療費無料化を、中学生までから、高校生3年生まで拡大することを望むかがかか。

子育て支援課長 萩原双葉

答 本市で入院・通院医療費には、1,600万円余の財源が必要となるため、慎重に検討していきたいと考えます。

問 住宅リフォーム助成制度の継続とさらなる拡充について

制度の継続と、助成限度額の拡大を求めたいかがかか。

建設課長 守屋裕史

答 高い利用状況を踏まえ、事業継続を前向きに検討したいと考えます。助成限度額の引き上げは、財政状況を勘案し、総合的に判断したいと考えます。



▲核兵器廃絶平和都市宣

一般質問



根津和博 議員

新翔会

問

峡東ワインリゾート構想と日本遺産認定について

①これまでの取り組みと成果について伺いたい。②日本遺産認定を踏まえた今後の取り組みについて伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①本構想は、周遊・滞在型観光の推進を目指している。具体的な取り組みとして、地域案内ガイドの育成、地域案内サインの統一、ワイン列車の運行をはじめとした、国内外へのプロモーション活動を行い、観光客誘致の面で大きな成果が見られている。②「葡萄酒畑が織りなす風景」が日本遺産に認定され、ブドウ栽培とワイン醸造の歴史が改めて注目されるとともに、ワインリゾート構想が目指す「地域全体の周遊・滞在型観光地」としての大きな強みとなることから、今後は、日本遺産の魅力と周遊観光を積極的に発信する考えである。広域間連携を意識しながら、「果樹地帯を走るサイクリング」など、市内を周

遊する観光の強化を行っていく。

問

公共施設と市主催イベントでの分煙の取り組みについて

①法律改正により公共施設では屋内禁煙が義務化されるが、本市のイベントも含めた公共の場での禁煙・分煙の取り組みについて伺いたい。②電子タバコに対する喫煙スペースはどのようにしているのか伺いたい。③受動喫煙防止条例の策定を提案するがいかがか。

管財課長 水野誠司

答

①公共施設のうち、学校、病院、保育園等においては、原則敷地内禁煙で、それ以外の公設内禁煙で屋外に喫煙スペースを設けて分煙を行っている。本市が関係するイベントについても、ほとんどが禁煙となっているが、一部、喫煙スペースを設けている場合もある。②紙巻きタバコ愛煙者と同様に、喫煙スペースでの喫煙をお願いしている。③地域全体での取り組みが必要であることから、県との連携を強化し、研究していく。



▲日本遺産に認定された「葡萄酒畑が織りなす風景」



土屋裕紀 議員

新翔会

問

農地と農家人口の将来推計及び農家の意向調査について

統計やまなしの数値によると、平成17年から10年間で、農業就業人口は1,233人の減少、経営耕地の総面積は220haが減少している。そこで以下の4点について伺いたい。

①農地面積・農家人口の将来推計。②都市計画、農地保全の観点から、確保しようとする農地面積の目標値。

③畑地帯総合整備事業（担い手支援）4地区の経過年数、総事業費、終了予定年度。

④農地経営だけでなく将来的な転用を見据える中で農地集積は必須条件と考える。5年、10年後の農家の意向調査を実施すべきでは。

市長 高木晴雄

答

①2015年から10年間で農地面積は100ha、農家戸数は、172戸減少すると推計している。②農家が安定した農業経営が出来る農地面積の目安として、

2025年には1,780haを最低限確保したいと考えている。

③《万力》総事業費22億9,000万円、計画期間は平成22年度～31年度までであり、31年度完了予定。

《上栗原》総事業費8億2,000万円、計画期間は平成22年度～30年度までであるが、事業完了は31年度となる見込み。

《岩手》総事業費21億4,000万円、計画期間は平成23年度～32年度までであるが、34年度までの事業延長が必要と考える。

《日下部》総事業費20億1,000万円、計画期間は平成24年度～31年度までであるが、34年度までの事業延長が必要と考える。

④JAと連携して毎年、意向調査を実施している。農家の意向を踏まえ積極的な農地集積と農地保全に努める。

その他の質問

○河川の氾濫危険箇所への対応策と計画について

○職員の為の相談窓口について



▲宅地に隣接する耕作放棄地



村田 浩 議員

市民の会

問 公立幼稚園・保育園へのエアコン設置及び、老朽化している施設・設備の見直しについて

①本市の全小中学校へのエアコン設置はされているが、公立幼稚園、保育園でエアコンが未設置の教室はあるのか。また、経年劣化等によるエアコンの改修について、今後どのように考えているのか伺いたい。
②老朽化している施設・設備の見直しについて伺いたい。

教育長 市川今朝則

答 ①つつじ幼稚園は、6部屋の内、4部屋にエアコンが設置されている。今後も、安全な環境を確保するため最善の努力を行う考えである。公立保育園6園のすべての保育室にエアコンが設置されており、今年度は老朽化により効率が落ちたものは改修工事を行っている。しかし、窪平保育園のお遊戯室、調理員休憩室が未設置であること、将来的な経年劣化も予想されるため、計画的な

設置、更新を考えている。
②つつじ幼稚園は建設以来40年が経過し、修繕の必要箇所が増えているが、来年10月からの幼児教育無償化により入園者の減少が予想されることも踏まえ、慎重な検討が必要となると考えられる。保育園についても老朽化に伴う修繕が必要な園舎は、建設から31年経過している窪平保育園だけではない状況もあるので、今後、全体的な修繕計画を作成し、計画的な改修を行い、安心安全な保育環境の整備に努めていく。



▲山梨市立つつじ幼稚園

設置、更新を考えている。
②つつじ幼稚園は建設以来40年が経過し、修繕の必要箇所が増えているが、来年10月からの幼児教育無償化により入園者の減少が予想されることも踏まえ、慎重な検討が必要となると考えられる。保育園についても老朽化に伴う修繕が必要な園舎は、建設から31年経過している窪平保育園だけではない状況もあるので、今後、全体的な修繕計画を作成し、計画的な改修を行い、安心安全な保育環境の整備に努めていく。



萩原弥香 議員

公明党

問 食品ロス削減について

本市での飲食店等への「食品ロス削減」の啓発活動の取り組み、今後の計画について伺いたい。
②食品ロスを活用した、フードドライブへの取り組みについての考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①今後、市の取り組みとして、「最初の30分と最後の10分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょう」という、30・10運動の啓発などの周知、食品を扱う事業者、飲食店にも趣旨を理解頂き、店内に啓発ポスターを掲示し、市民の意識啓発に協力頂くなど、食べ残し削減に繋がる取り組みを進める。②フードドライブの集荷拠点は、市社会福祉協議会となっている。今後、フードドライブの実施期間中に開催される市のイベントで、受付窓口を設置するなど市民がより提供しやすくなる取り組みについて検討する。

問 アレルギー疾患対策について

①本市のアレルギー疾患

の現状と対策について伺いたい。
②指定医院の医師や、山梨県アレルギー疾患対策推進協議会の園部委員を招いての研修及び講座等の開催を計画してはどうか。③「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の作成、活用計画について伺いたい。

健康増進課長 小田切聡
①本市の現況は、通院している14歳までの子供の17・5%がアレルギー性鼻炎や皮膚炎である。保育園、幼稚園、小中学校に通う3,715人の内、給食の除去食など個別対応が必要な子供は136人である。取り組んでいる対策は、「小児科医の子育て教室」など様々な機会にスキューアや食事、治療に関する保健指導を行い、アレルギー疾患に対する正しい知識の普及を図っている。②来年度、市内の専門医と連携した上で、乳幼児を持つ保護者向けの研修会、専門職向けの研修会の開催を検討したいと考えている。③本市でもマニュアルを作成し、保育所などで活用できるように取り組みたいと考えている。

その他の質問
○コミュニティ・スクールについて



食べものに、もったいないを、もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

▲もったいないをもういちどロゴマーク

一般質問



向山 輝 議員

躍心会

問 山梨市立地域適正化計画策定の基本的な考え方と人口減少地域対策について

①都市計画区域外にある牧丘三富地域の機能誘導をどのように考えているのか伺いたい。②南反保地域の開発計画との関連性をどのように考えているのか伺いたい。③住民説明会では、どのような意見が出ているのか伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①都市計画区域外や、既存農村集落等の維持も重要であり、立地適正化計画と一体的に検討する。また、牧丘、三富地域の核となるエリアには、バスなどを利用したネットワークを整備し、中心部との連携を図る。②南反保地域に医療、商業施設などの施設を誘導すべき地域として位置付けている。③「コンパクトシティを目指す上で、周辺自治体の連携が必要」との意見を頂いた。

問 機構改革に関する基本方針と新課設置の基本的な考え方について

①各課訪問を延べ37回行い、市長は課の課題を把握するなど有意義な機会であった。機構改革に伴う事務分掌の再編などに反映させる。②新課の防災危機管理課は、有事の際の防災力強化などを図れる。地域資源開発課は、新たな施策の創出などの効果を見込んでいる。③晴風園は運営上の課題が山積している為、一担当として配置した上で今後の方向性を見出したい。介護保険課の執務フロアが手狭な為、東館2階に移設する。相談室の併設など業務改善に繋がると考える。機構改革により市民が戸惑うことのないよう力を注ぐ。

①市長による「職場・現場訪問」を行い、どのような感覚を受けたのか伺いたい。②新課設置の効果を伺いたい。③晴風園の位置づけや、介護保険課を東館2階に配置するが、その効果と市民目線に立ったものなのか伺いたい。

経営人事課長 中山浩貴

答 ①各課訪問を延べ37回行い、市長は課の課題を把握

するなど有意義な機会であった。機構改革に伴う事務分掌の再編などに反映させる。②新課の防災危機管理課は、有事の際の防災力強化などを図れる。地域資源開発課は、新たな施策の創出などの効果を見込んでいる。③晴風園は運営上の課題が山積している為、一担当として配置した上で今後の方向性を見出したい。介護保険課の執務フロアが手狭な為、東館2階に移設する。相談室の併設など業務改善に繋がると考える。機構改革により市民が戸惑うことのないよう力を注ぐ。

その他の質問

○市長就任1年を振り返り考え方と今後について②山梨市フルーツパーク(株)について○学校給食センター随意契約の経緯案件について



▲立地適正化計画【国土交通省ホームページより】



小野鈴枝 議員

市民の会

問 山梨市駅南地域整備事業について

①山梨市駅南地域の進捗状況について伺いたい。②南口広場の構想について伺いたい。③加納岩小学校西通り線と加納岩小学校前通り線の整備について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①山梨市駅南北自由通路及び、駅舎建替え工事については工程通り、骨組みまでが完了し、平成32年度の開通に向け順調に進捗している。②歴史ある三分水を修景施設として残し、障害者用と一般車用の乗降場を備えたロータリーに、送迎用の一時駐車場、バス停留所を配置する。付帯施設として、視覚障害者誘導ブ

ロック等のバリアフリー施設、雨除けとなるシエルターなど、市の南の玄関口にふさわしい安全で快適な広場整備を目指している。③加納岩小学校西通り線の第2工区、延長697mは、現在整備を進めている南口広場までの第1工区から、正徳寺下神内川線までの

延長となり、加納岩小学校前通り線部分の延長170mは、現在の山梨市駅停車場線との交差点から西通り線第2工区に接続するものである。今年度、道路詳細設計を実施し、第1工区の完成後、街路事業として着手する予定である。

問 河川内の木の伐採等について

大災害前になる前に、国土交通省に管理を依頼して欲しいがいかがか。

答 岩手橋下流の笛吹川について、山梨市、笛吹市、甲州市の3市で、4月と9月の2回、国土交通省及び県選出の国会議員に対して河川整備の要望活動を行った。また、県管轄の河川についても県に対し、整備の要望を行っている。

その他の質問

○機構改革について



▲山梨市駅南北自由通路の工事の様子



木内健司 議員
公明党

問 来庁者の利便性の向上について

身近な人が亡くなった際に、しなければならぬ様々な手続きを一つの窓口で案内する、「死亡手続き専用窓口の「お悔みコーナー」として設置している自治体が増えている。本市においても来庁者の利便性向上のため、「お悔みコーナー」の設置を要望するがどうか。

市民課長 佐藤美子

答 本市では葬儀終了後に、来庁して頂くご遺族に対し、「手続き一覧」を渡している。また、

来庁された、ご遺族に対し個々の状況を聞き、職員が次の窓口案内するなど配慮に努めている。今後は、関係課と連携を図り「手続き一覧」の内容をわかりやすいものに更新するとともに、「お悔みコーナー」など先進事例も研究しながら、更なる来庁者の利便性向上に努めていきたいと考える。

問 スマートフォンアプリ等を利用した市税等の納付方法の導入について

最近ではスマートフォンひとつで様々な経済活動にアクセスできる。スマートフォンアプリを活用した市税などの納付方法を、時代に即応した効果的な取り組みとして導入すべきと考える。また、クレジットカード決済についても導入すべきであると考えているがいかがか。

税務課長 守屋秀文

答 本市においても、平成31年4月1日から市税、後期高齢者医療保険料、介護保険料を対象に、ヤフーアプリによる納付が可能となるよう準備を進めている。クレジットカード決済の導入については、預金残高や所持金がない場合でも納付することができるとの利点があるが、手数料が納税者負担となるなどデメリットも想定されるため、導入済みの他市の状況を調査する中で検討していきたいと考える。

○その他の質問

○観光危機管理の充実について



▲納付書とスマートフォン

ご意見箱へのご協力ありがとうございます。

【議会事務局に寄せられたご意見】

- ・議会だよりがリニューアルされ、見やすくなっている。

ご意見箱は平成26年10月設置時から多くのご意見を頂き、議会運営の参考にさせて頂いております。今後も、市民の皆さまに、より親しみを感じていただけるよう、見やすく、分かりやすい議会だよりを目指して編集に努めてまいります。お気軽にご意見をお寄せ下さい。



【設置場所】

- 山梨市役所西館、東館
- 牧丘支所
- 三富支所
- 街の駅やまなし
- 市民総合体育館

委員会報告

総務常任委員会

付託議案等

- 議案第87号 山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第88号 山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について
- 議案第89号 山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第90号 山梨市長等の給与及び旅費条例の一部を改正する条例について
- 議案第91号 山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について
- 議案第95号 平成30年度山梨市一般会計補正予算(第4号) 関係付託部分
- 請願第2号 山梨市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願

総務常任委員会

- ◎岩崎 友江 ○萩原 弥香
- 武井 寿幸 矢崎 和也
- 村田 浩

問 社会資本整備総合交付金の対象事業が、減額になった要因と内訳について伺いたい。

答 は、国の補助金である。当初予算では、国に対してできるだけ多く要望を行ったが、内示額が確定したことにより減額となった。主なものは、土木費の道路橋梁費及び都市計画費を中心に、7億5,000万円余の減額となった。その内訳として、道路橋梁費は、道路維持費の橋梁の耐震化や道路建設改良費であり、都市計画費は山梨市駅南地域整備事業等となる。

問 地方創生交付金を活用し、地域商社拠点整備事業で、旧三富保育園の改修工事を行っているが、860万円余の減額について、その要因と内訳を伺いたい。

答 は、当初予算確定後に交付決定がなされており、改修事業費

のうち雨漏り修繕と、街灯の設置工事のみが交付対象となった。また、想定設計段階で、アスベスト調査や処理を見込んで計上をしていたが、実際にアスベストは無かったため、工事費から削除した点などが、減額の大きな要因でもある。歳出での主なものは、旧三富保育園の改修工事に係る当初予算額2,250万円であったが、契約締結後、1,614万円(税抜価格)になった。交付金の対象事業費についても、当初の2,000万円から、269万円余と大幅に減額となった。

問 機構改革に伴い、東館2階コロボサロンのフロアに、介護保険課を配置することで、1,100万円余の工事費を計上しているが、今後、相談などのスペースはあるのか。また、誘導通路の工夫はされるのか伺いたい。

答 これまで、市民が東館の2階に上がってくる機会が

少なかった。あまり利用がされていないことから、空スペースの有効活用と、東館1階西側の執務スペースの確保を合わせ、庁内検討委員会の集約結果により、介護保険課を2階に移設することになった。なお、車イス等で介護保険課を利用される方は、エレベーターを利用していただき、誘導通路については検討していきたい。また、東館1階に相談スペースの設置を予定している。

〈要望事項〉

平成30年12月14日付けで、東日本旅客鉄道株式会社は、JR中央線における山梨県内の特急停車駅の変更を、来年3月のダイヤ改正で行うと発表した。改正に伴い、峡東地域の3駅に停車する特急が減少するといわれている。本件は、本市の観光や定住等の観点から、地域活性化にも影響を及ぼすものと考えられる。については、東日本旅客



▲旧三富保育園(地域活性化拠点施設としての利用予定)の視察の様子

鉄道株式会社に対し、現行維持及び、増便等による公共交通の充実が今後も図られるよう、引き続き要望し対応すること。

現地視察として、旧三富保育園(地域活性化拠点施設としての利用予定)の視察を行った。

建設経済常任委員会

付託議案

議案第92号	山梨市若者定住促進支援基金条例の一部を改正する条例について
議案第93号	山梨市営若者定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について
議案第95号	平成30年度山梨市一般会計補正予算(第4号) 関係付託部分
議案第96号	平成30年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
議案第99号	平成30年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
議案第100号	平成30年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第2号)
議案第101号	字の区域の変更について

建設経済常任委員会

- ◎飯島 力男 ○飯嶋 賢一
- 土屋 裕紀 三枝 正文
- 木内 健司 小野 鈴枝

問 山梨市若者定住促進支援基金を合併前の三富村の区域の振興に係る事業に充てることのできるようになることであるが、限度額はあるのか伺いたい。

答 どの事業に充てるかは、住民と協議する中で決めていく予定であり、基金の取り崩しの限度額は特段設けていない。なお、当該基金を活用した事業を実施する場合は、事前に議会へ説明を行う。

問 山梨市定住祝い金の受け取り条件について、入居者が「合併前の三富村の区域に持家を取得し定住すること」から、「山梨市内に持家を取得し定住すること」に改正されるが、それにより定住人口の増加は見込まれるのか伺いたい。

答 入居者の多くは峡東地域に定住することを希望しているが、合併前の三富村エリアの

みが対象では持家を取得するための適地が限定されてしまう。祝い金交付対象エリアを広げること、入居者が持家を取得するための選択肢が増え、また、入居月数に合わせた祝い金を受け取れることは持家を取得する際に他市と差別化が図れるため、本市への定住人口増加の効果はある。

問 山梨駅南地域整備事業費について、社会資本整備総合交付金の要望額減額に伴い、4億8,600万円余の減額補正となつているが、工事の進捗に影響はないのか伺いたい。

答 山梨駅南地域整備事業の自由通路の工事関係委託料は、複数年度にわたる協定で、年度ごと施工進捗に合わせた清算を行っている。本年度の施工進捗による精算額は国庫補助金交付額で支払い可能となつている。なお、現時点で、自由通路は順調に施工

が進んでおり、来年度も施工進捗に合わせた国庫補助を頂くため、国に強く要望する。

問 小原西701-1番地にある旧ムカワホームの土地6,017㎡の内、およそ870㎡を県道山梨市駅停車場線工事に伴う代替地として、譲渡することなのか。また、どの辺りが譲渡されるのか。また、現在使用している人との調整はどうなつているのか伺いたい。

答 譲渡される場所は、旧ムカワホーム跡地の北側工場棟の西の建物であり市道に面している部分である。なお、旧ムカワホーム跡地は、都市計画道路山梨北中学校西通り線の計画用地であったが、平成28年度に都市計画道路の見直しが行われ、山梨北中学校西通り線の計画が廃止となつた。この土地を県道山梨市駅停車場線の工事に伴う代替地として希

望された方がいたので譲渡する。なお、現在2つの会社が当該土地を借り受けており、この度、代替地となる土地の部分に関しては、2月を目安に移転することとなっている。



▲建設経済常任委員会の審査の様子

委員会報告

教育民生常任委員会

付託議案

- 議案第94号 山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第95号 平成30年度山梨市一般会計補正予算(第4号) 関係付託部分
- 議案第97号 平成30年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第98号 平成30年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)

教育民生常任委員会

- ◎深沢 敏彦 ○清水 時保
- 根津 和博 古屋 弘和
- 向山 輝

問 年間を通してどの程度の試掘調査を行っているのか伺いたい。また、試掘調査に関する予算についても併せて伺いたい。

答 年間で、20数件の試掘調査を市内全域で行っている。また、今年度の試掘調査の予算については、埋蔵文化財単独でおよそ930万円である。

問 病児・病後児保育事業の広域ネットワーク化について伺いたい。

答 今年の4月からの制度変更で広域化となり、県内すべての市町村のお子様、山梨市の厚生病院の施設を使用することになった。住所地での事前登録が基本で、予約して使うことが可能である。今年度の延べ利用児童数が、現在48名であり、50名までの加算区分を超える状況のため、委託料増額の補正予算を行った。

問 障害児支援費、障害者自立支援費の給付費で、利用者が見込みより増えた要因と、今後利用者がどのように推移していくのか伺いたい。

答 市の福祉課に障害者基幹相談支援センターを設置し、障害者本人や障害児のご家族が、より一層相談しやすい体制を取っているところだが、そこから障害児の放課後等デイサービスや障害者の介護給付の利用者が増えてきたと考えている。また、ここ数年、サービスを提供する事業所も増加の要因であると思われる。今後については、今までは、今まで急激に増えた分、少し落ち着くのではないかと考える。

市に於いては、今までは、今まで急激に増えた分、少し落ち着くのではないかと考える。



▲教育民生常任委員会の審査の様子

「高額介護サービス費算定の誤りについて」説明があった。市は算定に必要な所得の移動情報を作成する業務を委託しており、作成した情報の確認がまま算定処理が行われたため、誤りが生じたとの説明があった。

以前にも業者選定のプロポーザルに関して重大なミスがあり、また同じようなミスが繰り返されたことについて、委員会として今回の説明だけでは到底納得できる内容ではない。平成30年9月定例会の教育民生常任委員会でも説明のあった、入札業者選定ミスについて、補正予算として390万円を支払っていること、また、この他に同じ業者に切替期間の業務委託として、追加で59万4,000円

追加で59万4,000円

を支払っていることを考えると税金の無駄使いとしか言えない。この件については、丁寧な説明を求めるとともに、今後も引き続き注視していく。

現地視察として、三富基幹集落センター、旧三富保育園の視察を行った。



▲三富基幹集落センターの視察の様子

議会活動日誌

12月

- ・平成30年12月定例会（11月30日～12月21日）
- ・第14回山梨市地域福祉大会
第13回ボランティア大会（1日）
- ・正副議長就任挨拶回り（7日、11日）
- ・平成30年度山梨市文化協会特別事業文化公演（9日）
- ・会派代表者会議（13日）
- ・議会運営委員会（13日、14日、20日）
- ・議員全員協議会（13日、14日、20日）
- ・山梨市ソフトボール協会平成30年度納会（14日）
- ・千葉県長生村議会行政視察受け入れ（19日）
- ・山梨市監査委員任命式（20日）
- ・議会改革特別委員会（21日）
- ・山梨県甲府市議会行政視察受け入れ（25日）



1月

- ・New Year Festival 2019 Happy!!初日の出（1日）
- ・平成31年山梨市議会新年互礼会（4日）
- ・平成31年山梨市消防出初式（6日）
- ・第32回山梨市経済団体役員新年互礼会（11日）
- ・平成31年山梨市成人式（13日）
- ・山梨県市議会議長会事務局長及び事務局職員視察研修会（17日～18日）
- ・第137回国会对策委員会（17日）
- ・平成31年新春賀詞交歓会（22日）
- ・関東市議会議長会第2回支部長会議（24日）
- ・関東市議会議長会視察研修（25日）
- ・議会運営委員会（28日）
- ・議員全員協議会（28日）
- ・議会改革特別委員会（28日）
- ・議会だより編集委員会（28日）



2月

- ・根津記念館歳時記イベント「節分豆まき」(3日)
- ・平成30年度山梨県市議会議長会
議員合同研修会（5日）

- ・第34回山梨県市町村自治講演会（5日）
- ・第14回山梨市老人福祉大会（6日）
- ・新翔会・公明党合同行政視察研修（6日～8日）
- ・全国広域連携市議会協議会第70回理事会（7日）
- ・全国広域連携市議会協議会第50回総会（7日）
- ・「第14回自然と清流・果実の里
やまなし短歌大会」表彰式（9日）
- ・議会改革特別委員会視察研修（12日）
- ・全国過疎地域自立促進連盟第137回理事会（13日）
- ・全国市議会議長会第214回理事会（14日）
- ・全国市議会議員互助会第1回代議員会（14日）
- ・全国市議会議長会第106回評議員会（14日）
- ・市議会議員共済会第117回代議員会（15日）
- ・議会運営委員会視察研修（18日～20日）
- ・議会運営委員会（25日）
- ・議員全員協議会（25日）
- ・平成31年3月定例会（2月27日～3月22日）

やまなし市議会だより第50号の訂正について（お詫び）

やまなし市議会だより第50号（平成29年8月23日発行）2ページに記載されている議案第64号の議案説明について、誤りがございましたので、お詫びして訂正します。

【訂正前】248万7,000円

【訂正後】2,480万7,000円

3月定例会開催予定

2月27日(水)	本会議（開会）
3月5日(火)	常任委員会
8日(金)	本会議（補正等）
13日(水)	本会議（代表質問）
14日(木)	本会議（一般質問）
15日(金)	常任委員会
18日(月)	常任委員会
22日(金)	本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定

編集後記

十二月から一月にかけて、記録的な乾燥が続き、インフルエンザの大流行で、学級閉鎖が相次ぎました。

本年、山梨市では、405名が、成人の仲間入りをしました。

四月には、可愛い233名の児童が、小学校に入学します。

「どちらも、これからの山梨市を担う大事な宝物。」

表紙の、写真を選択しながら、その思いを強くしています。

深沢 敏彦

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

深沢 敏彦
飯島 力男
岩崎 友江
向山 輝
武井 寿幸
矢崎 和也

山梨市議会ホームページでも、会議録などの議会情報を見ることができます。
(<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/gover/assembly/>)